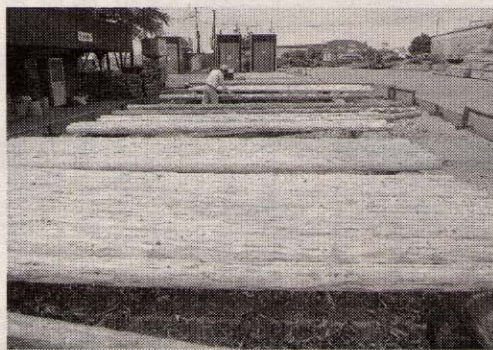


木電柱を常時3000本在庫

九州木材工業



同社は1930年の設立（保存処理事業開始）以前から、杉による木電柱納入事業を手

仮設引込み線、山間地域などで引合い増

九州木材工業（福岡県筑後市、角博社長）は、仮設引き込み線用、また山間地域などで使われる木電柱（杉）を常時3000本程度在庫している。長さ（5〜10㍎）と径級によって23種類あり、保存処理はタナリスCY、環境配慮型クレオソートに対応している。通常は年間3500〜4000本を販売しているが、昨今は環境、景観等の側面から山間地域などで木電柱を優先採用する動きもあるなど、各方面からの引き合いが増えている。

手彫りにより節抜きが行われている木電柱

枕木、住宅、建築資材全般の高耐久木材供給に事業を拡充して現在に至っており、木電柱の製造方法は今でも昔ながらの方法を忠実に守っている。ほかの木電柱製造元が一般的

な皮むき機による生産に移行しているのに対し、同社では水圧パーカーによる皮むき、また手彫りによる節抜き等を行っている。これは強度を保たせるため、先人の知恵で、実際に効果は高いという。

また、木電柱用の杉丸太を選別できる素材生産者と提携し、立木の段階から1丁取りしたものを直接購入している。長さや径級の数字だけで比較すれば一

般な原木市場相場に比べてかなりの高値だ。しかし、電柱に向く素性やテーパー状況は独自のものがあり、職人技術の継承とも

に、山元への還元にもつなげていくため、この取り組みは今後も継続していく考えだ。

角社長は「丸太をほぼ丸ごと使える木電柱は、国産材の究極の有効活用ともいえるのではないか。今後も安定供給に努めていきたい」と話している。

マニルカラ

AMAZON JARRAH

アマゾンジャラ

マサランデューバ

(株)ランバージャック

TEL.0533-88-5266 FAX.88-6711